

Samoan Life Memories vol.5

2025.10.28

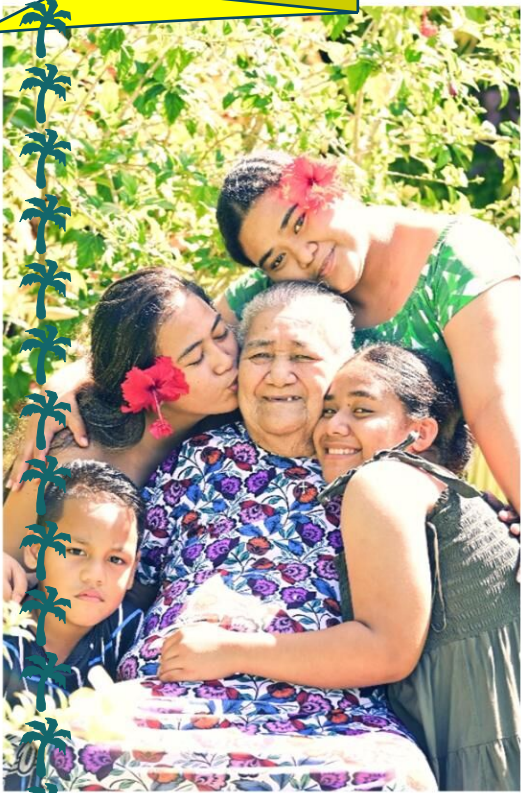
Malo(サモア語でこんにちは)!

JICA 海外協力隊 2024 年度 3 次隊、太平洋の島国・サモアの女子校・

St.Mary 中高等学校に PC インストラクターとして派遣中の 関根明希乃です。

今回は、9月前後の思い出を振り返っていきます!!

8/30 同僚の先生のご実家の村へ

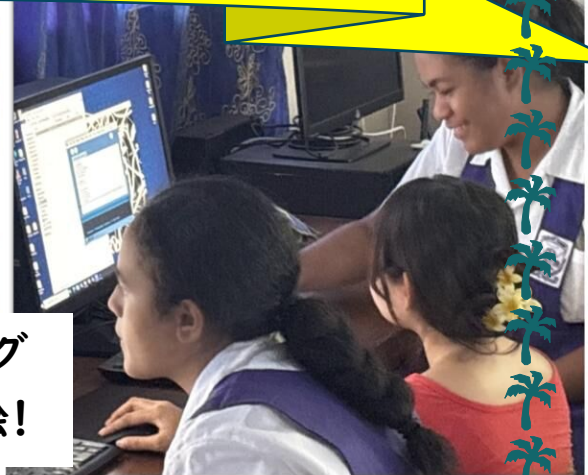
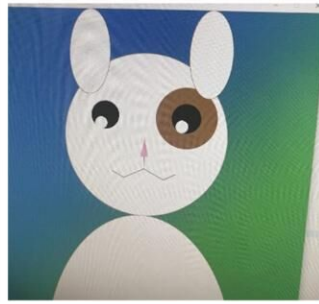


同僚の、セユニという数学の先生のご実家のある村へ行ってきました。左は、セユニの奥さんのお母さんと、セユニの奥さんの兄弟の子供達の写真です。一番右の写真の男の子は、家庭の事情からセユニの養子になりました。サモアでは、養子を迎えている家庭が多く感じます。フルーツもぎ取り体験もしました!!

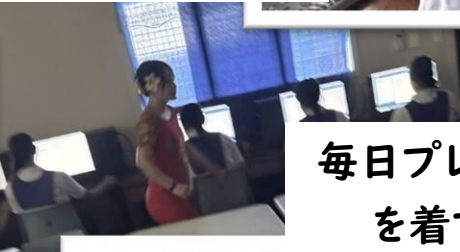
プログラミングで絵を描こう！の授業



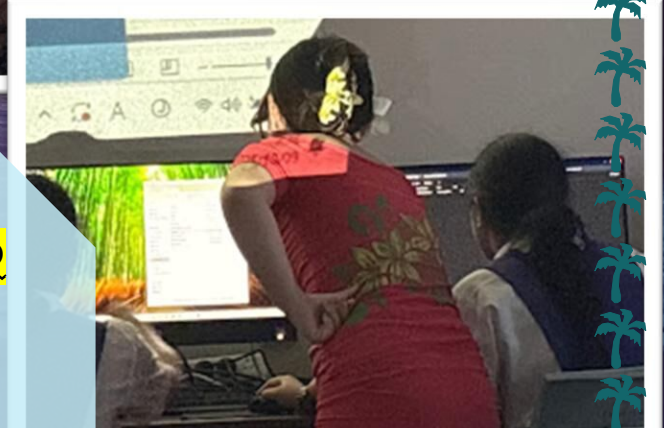
優秀な生徒がプログラミングで描いた絵！



優秀な生徒達！



毎日プレタシ（民族衣装）を着て教えています



生徒達のモチベーションを上げる為、宿題を採点する度イラストを描いてます



今まで人に教えたことのない（塾講経験すらない）私（元文系）が、毎日4～6コマYEAR11（高1）の全4クラス120人にプログラミングを教えることに！St.Maryは理数科教育に力を入れていて、毎日パソコンの授業があります。派遣前訓練合宿（サモアに来る前、日本で73日間英語漬けのJICAの訓練合宿に参加）の模擬授業で作成したテキストを基に、四苦八苦しながら実施！まずはカラーコードから好きな色を選ぶところから始まり、皆思い思いのデザインをプログラミングで描くことが出来ました！！授業が始まる前は、不安で自信が無くて何度も泣いたけど…、思ったより好評で、皆楽しんでくれました！！

先生や生徒達に写真や習字のプレゼント

Ma 護 protects, help people
ri 鈴 bell
a 愛 Love

フィジー人の先生・Maria

普段優しくしてくれる Maria
と Vicky の誕生日に、本人
と家族の分の名前を漢字で
当て字してあげました

de 翡 jewelry
emerald
beautiful
only one
special
唯
ck

ガーナ人の先生の
Vicky

vi 海 ocean pa 春 spring
lia 楽 happy u 歌 song
me 南 South la 楽 have a fun
Love 愛 A fresh So garden 庭 Da honest 真 Mi jade jewelry
drop 露 lo wind 爽 phi kind 優 vi shooting cha beautiful 翡
orchid 蘭 ra field 野 ya smart 智 d star 流 el only one special 唯

生徒達に、良く撮れた写真をポケッ
トマネーでプリントアウトしてあげま
した(写真立てまで)!

7 月の International day (第3
号参照) で日本グループだった子
達優先です。

将来、日本の民族衣装を着た自分
の写真を見て、そういえばこんな日
本人の先生がいたなって、思い出し
てくれたら嬉しいなと思います。

9/24 毎学期末はプレタシ(民族衣装)デイ



普段は校則で禁止されている
髪飾りやピアス、ネックレスも、
毎学期末のプレタシ(サモア
の民族衣装)デイだけ解禁!!
皆好きな色を着てカラフルに



9/26 毎学期末はスポーツデイ！

椅子取りゲーム



毎学期末のスポーツデイ！椅子取りゲー

ム、綱引き、棒の周りをグルグル回って目をフラフラさせながらのリレー、早食い競争など、これはスポーツなの！？って競技も笑

綱引き



生徒会長 & 副生徒会長



全校生徒が、

● Aquianas (赤)

● Deporres (緑)

● Avilla (黄色)

● Orleans (青)

の4つのグループに分かれています。それぞれ聖人の名前(カトリック系女子校です)。グループのことを House と言います。English competition や Sport day では、この House ごとに競います。

早食い競争



9/30 Samoa Victim Support Group へ



サモアの虐待問題…

サモアといえば、南国で人も気候も温かいイメージがありました。しかし、日本と同じように意地悪な人や陰湿な人もいます…どこの国に行ってもそういう人はいるんだなと思いました。そして、**サモアは虐待率がとても高い**です。躰として体罰の文化（鞭や棒で血が出るまで叩く!）が未だに残っており、**5人に1人が家庭内暴力を受けた経験**がある、というデータもあります。今回、後輩隊員が家庭科の先生として配属されている **Samoa Victim Support Group(虐待保護施設)** を訪問し、一緒に子ども達に鶴の折り方を教えたり、日本語カルタで遊んだり、浴衣を着付けたりしました。海外の困っている人が助けたくて協力隊に参加したので、今回虐待保護施設を訪問でき良かったです。躰と暴力の違い、文化って難しい…

Manuia le aso!(良い！日を)

2025.10.28

JICA海外協力隊 2024 年度3次隊

サモア・PCインストラクター隊員

関根明希乃